

■24年度 東京P2M 研究会テーマ NO1-3

NO	起案者	研究テーマ	テーマ設定の背景（事由など）	研究活動の概要 (やるべきことの概要及び最終成果物のイメージ等)	成果物
1	藤澤 正則	事業者のためのプロジェクト・プログラムマネジメント/ みんなに、わかる P2M を創ろう	事業環境の変化が早く、激しい中、従来の進め方では、スピードと精度での遅れが生じて、継続していくことが難しくなっている。今後、事業者として、変化を先どりして、変化を創り出すレベルをめざすには、P2M の見方、考え方は有効な進め方であることが考えられる。	2011年度は、事業者のためのプロジェクト&プログラムマネジメントの事例研究を踏まえた調査研究を行ってきました。今年度は、実際に進めていることを体系的にしていき事業戦略の具現化のフレームとして、使ってみて、検証を行う	・東京 P2M 研究部会報告書に掲載。
2	渡部 寿春	①事業改革と P2M の応用 ～ワークショップを通じた応用力の開発～ ②事業改革と IT 戦略 ～事業改革における IT 戦略プロセス～ *計 2テーマ	① これまで P2M がやり方を教える研修を中心に行ってきたため資格保有者においても応用のイメージが掴みにくいとの課題にこたえ、P2M の効果的な実践的、活用方法を中心に研究を行う。 ② 事業改革で価値を創出するための IT 戦略プロセスを明確にすることで使える技術にしたい。	① ワークショップ形式の方法を開発する。 ② 東京 P2M 研究会報告書に論文を掲載する。	①PM シンポジウム 2012 2日目ワークショップで発表 ③東京 P2M 研究部会報告書に掲載
3	梶原 定	グローバル事業展開における人材育成の勘所	企業の中で、最も重要な経営資源といえば、やはり「人材(財)」です。企業は、企業ビジョンを達成するプロセスにおいて、様々な困難に、私たちは、直面します。これらの困難を乗り越え目的を実現するためには、P2M でいう「知識(思考力)」、「経験(行動力)」、そして強い意志を持った人材がチームとして、結束し、対応していくことが求められている。 このような「人材」の育成は、今日、どの企業においても不可欠なテーマであり、この問題の意味を考えることが必要不可欠と考える。	プロジェクト&プログラム(事業)を進める上で、人材育成のポイントは何か？ その原則は、「先ず自分自身が、どのような姿勢・考え方(人間力)で、行動するかになるのか？」 その為には、「自分が変わる」ということに焦点をあて ① 必要とされる人材を育成するとは？ ② 期待される人材像とは何か？をベースに研究を行う。	・東京 P2M 研究部会報告書に掲載